

ま え が き

この薬価基準は、平成24年3月5日厚生労働省告示第79号に基づき編集したものです。平成24年4月1日から実施されます。

本書の使用にあたっては、つぎの各項にご留意ください。

1. 内用薬、外用薬、歯科用薬剤は一括して品名50音順に配列し、そのあとに注射薬を品名50音順で記載しました。
2. 品名の前に付した略号は以下の通りです。

先……薬価制度において「先発医薬品」として整理しているもの

○……同一剤形・規格の後発医薬品がある先発医薬品（同一の含量であって、剤形が「錠剤（普通錠・口腔内崩壊錠）とカプセル」又は容器が「瓶、管、袋等のもの」については、「同一剤形・規格」として整理）（平成24年4月1日現在）

後……平成24年度診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品

★……後発医薬品であるが、診療報酬において加算等の算定対象とならないもの（先発医薬品と同額又は薬価が高いもの）

以上は、「使用薬剤の薬価（薬価基準）に記載されている医薬品について（平成24年4月1日現在）」（厚生労働省、平成24年3月5日公表）（<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>）に準拠。

外……外用薬 歯……歯科用薬剤

劇……劇薬 向……向精神薬 毒……毒薬 覚……覚せい剤原料

麻……麻薬 生……生物由来製品 特……特定生物由来製品

処……処方せん医薬品（内用薬・外用薬・歯科用薬剤の該当品目に対して表示）

局……第16改正日本薬局方収載医薬品（統一収載）

局……銘柄別収載日本薬局方収載品目

統……統一名で薬価収載された品目（統一名収載品目）

経……平成24年8月31日までが使用期限の経過措置品目。

経……平成25年3月31日までが使用期限の経過措置品目。

（経過措置品目は、平成24年3月5日厚生労働省告示第75号に基づく。）

※……製造販売承認の品名では、他社の品名と区別できない品目で、官報告示の際、品名の次に括弧書によって医薬品製造販売業者名の略称を加えたことを示す。

麻薬、毒薬、向精神薬、覚せい剤原料は、これらを調剤したとき加算（2種以上重複した場合は1種のみ）があるので、調剤料の算定の際には注意を要します。

また劇マークが付された品目であっても、散剤、細粒剤、顆粒剤であって、1服用単位ごとに分包化されたものは、劇薬から除外される場合もあります。

メーカー名は、製造販売承認取得会社名（可能な限りにおいて販売会社名）として記しました。

薬価基準は、消費税に相当する額を含む価格で告示されています。

3. 内用薬、外用薬には可能な限り新一般名（配合剤を除く）、用法・用量等（必要に応じて標榜薬効等）を付しました。

用法・用量は、あくまでも調剤報酬算定の参考のためであり（平成24年2月時点での添付文書に準拠）、詳細等については、当該医薬品の添付文書を参照・確認・準拠してください。

4. 「薬効」と「分類」は原則として、「日本標準商品分類（平成2年6月改訂）」に準拠（一部改変）しております。本書p.xvの薬効分類を参照してください。

2012年3月5日

（株）薬事日報社

目 次

まえがき

調剤報酬点数表vii

薬効分類xv

内用薬・外用薬・歯科用薬剤 1

注射薬599

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
703.50	先(外) 処(丸)	アイオピジンUD点眼液1%	(1%0.1mL1個)	日本アルコン	眼科用剤	アブラクロニジン塩酸塩点眼液1%	レーザー照射1時間前、及び照射直後に術眼に1滴ずつ点眼(レーザー術後眼圧上昇防止剤)	1319
300.80	後(外)	アイケア点眼液0.1%	(0.1%5mL1瓶)	科研製薬(科研、テイカ)	眼科用剤	精製ヒyaluron酸ナトリウム(角結膜上皮障害治療用点眼剤)	1回1滴、1日5~6回点眼し、適宜増減	1319
16.70	後(外)	アイケアミニ点眼液0.3%	(0.3%0.4mL1個)	科研製薬	眼科用剤	精製ヒyaluron酸ナトリウム点眼液	1回1滴、1日5~6回点眼、適宜増減、通常は0.1%製剤を投与し重症疾患等で効果不十分の場合0.3%製剤を投与(角結膜上皮障害治療用点眼剤)(0.4mL包装)	1319
10.80	後(外)	アイコザールクリーム1%	(1%1g)	富士製薬工業	抗真菌剤	ビホナゾールクリーム(白色の均一なクリーム剤)	1日1回患部に塗布(抗真菌剤)	2655
6.20	後	アイスフラット懸濁用配合顆粒	(1g)	長生堂製薬(田辺製薬販売)	制酸剤	乾燥水酸化アルミニウムゲル448mg(酸化アルミニウムとして224mg)、水酸化マグネシウム400mg(1g中)	1日1.6~4.8gを数回に分割、用時1gを約10mLの水に懸濁又はそのまま経口投与(消化性潰瘍・胃炎治療剤)	2349
6.80	後(丸) 経	アイスラール錠20mg	(20mg1錠)	テバ製薬	血管拡張剤	一硝酸イソソルビドとして	1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、重症・効果不十分時1回40mg1日2回増量可	2171
1,510.40	先(丸) 丸	アイセントレス錠400mg	(400mg1錠)	MSD	抗ウイルス剤	ラルテグラビルカリウム錠	ラルテグラビルとして400mgを1日2回経口投与、食事の有無にかかわらず投与可、必ず他の抗HIV薬と併用(HIV感染症)(HIVインテグラーゼ阻害剤)	6250
24.00	後(局)	アイタント錠50	(50mg1錠)	東和薬品	抗血小板剤	シロスタゾールとして	1回100mgを1日2回経口投与、適宜増減(抗血小板剤)	3399
47.60	後(局)	アイタント錠100	(100mg1錠)	東和薬品	抗血小板剤	シロスタゾールとして	1回100mgを1日2回経口投与、適宜増減	3399
6.00	後(丸) 局	アイデイト錠50mg	(50mg1錠)	鶴原製薬	痛風治療剤	アロプリノールとして	1日量200~300mgを2~3回に分けて食後に経口投与、適宜増減	3943
6.00	後(丸) 局	アイデイト錠100mg	(100mg1錠)	鶴原製薬(鶴原、日本ジェネリック)	痛風治療剤	アロプリノールとして	1日量200~300mgを2~3回に分けて食後に経口投与、適宜増減(高尿酸血症治療剤)	3943
6.30	後(丸) 局	アイデイトロール錠10mg	(10mg1錠)	鶴原製薬	不整脈用剤	プロプラノロール塩酸塩として	1日30~60mgより投与をはじめ、効果不十分な場合は120mgを漸増、1日3回分服、適宜増減(β遮断剤)	2123
84.80	後(外)	アイドロイチン1%点眼液(1%5mL1瓶)		参天製薬	眼科用剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	日2~4回、1回1~2滴点眼(角膜表層の保護)	1319
87.70	後(外)	アイドロイチン3%点眼液(3%5mL1瓶)		参天製薬	眼科用剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	日2~4回、1回1~2滴点眼(角膜表層の保護)	1319
10.20	先(丸) 丸	アイトロール錠10mg	(10mg1錠)	トーアエイヨー(アステラス)	血管拡張剤	一硝酸イソソルビドとして	1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、重症・効果不十分時1回40mg1日2回増量可(狭心症治療用ISMN製剤)	2171
16.40	先(丸) 丸	アイトロール錠20mg	(20mg1錠)	トーアエイヨー(アステラス)	血管拡張剤	一硝酸イソソルビドとして	1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、重症・効果不十分時1回40mg1日2回増量可	2171
45.60	先(丸)	アイピーディカプセル50	(50mg1カプセル)	大鵬薬品工業	アレルギー用剤	スプラタストシル酸塩として	1回100mgを1日3回毎食後に経口投与、適宜増減(アレルギー性疾患治療剤)	4490
55.70	先(丸)	アイピーディカプセル100	(100mg1カプセル)	大鵬薬品工業	アレルギー用剤	スプラタストシル酸塩として	1回100mgを1日3回毎食後に経口投与、適宜増減(アレルギー性疾患治療剤)	4490
61.40	先	アイピーディドライシロップ5%	(5%1g)	大鵬薬品工業	アレルギー用剤	スプラタストシル酸塩として	小児には1回3mg/kgを1日2回朝食後及び夕食後に用時溶解して経口投与、適宜増減、1日投与量は成人通常1日用量300mg(ドライシロップとして6g)を超えないこと(気管支喘息)	4490
956.60	先(外)	アイビナル点眼液0.01%	(0.01%5mL1瓶)	MSD	眼科用剤	イブジラスト	アレルギー性結膜炎(花粉症を含む):1回1~2滴、1日4回(朝、昼、夕方、就寝前)点眼(抗アレルギー点眼剤)	1319
28.40	後(丸) 統	アイラックス錠200mg	(200mg1錠)	辰巳化学	抗ウイルス剤	アシクロビルとして	単純疱疹:1回成人200mgを1日5回経口投与、適宜増減	6250
52.70	後(丸) 統	アイラックス錠400mg	(400mg1錠)	辰巳化学	抗ウイルス剤	アシクロビルとして	帯状疱疹:1回成人800mgを1日5回経口投与、適宜増減	6250
5.60	後(丸)	アイロクール錠10	(10mg1錠)	沢井製薬	血管拡張剤	一硝酸イソソルビドとして	1回20mg1日2回を経口投与、適宜増減、重症・効果不十分時1回40mg1日2回増量可(狭心症治療用ISMN製剤)	2171

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
6.20	後	アラントSP細粒20%	(20%1g)	キッセイ薬品工業	消化性潰瘍用剤	アルジオキサとして1日300~400mgを3~4回に分服、適宜増減(胃・十二指腸潰瘍治療剤)		2329
5.60	後 局	アリスメット錠50mg	(50mg1錠)	辰巳化学	痛風治療剤	アロプリノールとして1日量200~300mgを2~3回に分けて食後に経口投与、適宜増減		3943
5.60	後 局	アリスメット錠100mg	(100mg1錠)	辰巳化学	痛風治療剤	アロプリノールとして1日量200~300mgを2~3回に分けて食後に経口投与、適宜増減(高尿酸血症治療剤)		3943
28.80	後 局	アリスリズムカプセル25	(25mg1カプセル)	沢井製薬	不整脈用剤	ビルジカイニド塩酸塩水和物として1日150mgを3分服、適宜増減、重症又は効果不十分時1日225mg迄増量可(不整脈治療剤)		2129
53.20	後 局	アリスリズムカプセル50	(50mg1カプセル)	沢井製薬	不整脈用剤	ビルジカイニド塩酸塩水和物として1日150mgを3分服、適宜増減、重症又は効果不十分時1日225mg迄増量可		2129
337.10	先 局	アリセプト細粒0.5%	(0.5%1g)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mg(細粒0.6g)から開始し、1~2週間後に5mg(細粒1g)に増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mg(細粒1g)で4週間以上経過後、10mg(細粒2g)に増量、適宜減量(アルツハイマー型認知症治療剤)		1190
238.50	先 局	アリセプト錠3mg	(3mg1錠)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで4週間以上経過後、10mgに増量、適宜減量		1190
356.00	先 局	アリセプト錠5mg	(5mg1錠)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで4週間以上経過後、10mgに増量、適宜減量		1190
636.00	先 局	アリセプト錠10mg	(10mg1錠)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで4週間以上経過後、10mgに増量、適宜減量		1190
233.40	先 局	アリセプト内服ゼリー3mg	(3mg1個)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し、経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には、5mgで4週間以上経過後、10mgに増量、適宜減量(内服ゼリー剤)(アルツハイマー型認知症治療剤)		1190
356.00	先 局	アリセプト内服ゼリー5mg	(5mg1個)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し、経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には、5mgで4週間以上経過後、10mgに増量、適宜減量(内服ゼリー剤)		1190
636.00	先 局	アリセプト内服ゼリー10mg	(10mg1個)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し、経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には、5mgで4週間以上経過後、10mgに増量、適宜減量(内服ゼリー剤)		1190
238.50	先 局	アリセプトD錠3mg	(3mg1錠)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで4週間以上経過後10mgに増量、適宜減量(ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠)		1190
356.00	先 局	アリセプトD錠5mg	(5mg1錠)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで4週間以上経過後10mgに増量、適宜減量(ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠)		1190
636.00	先 局	アリセプトD錠10mg	(10mg1錠)	エーザイ	中枢神経系用剤	ドネペジル塩酸塩として1日1回3mgから開始し、1~2週間後に5mgに増量し経口投与、高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで4週間以上経過後10mgに増量、適宜減量(ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠)		1190
5.60	後	アリーゼS配合錠	(1錠)	前田薬品(マイラン、テバ製薬)	消化酵素複合剤	ビオチンアスターゼ1000・膵臓性消化酵素・リパーゼ・プロザイム 1回2錠を1日3回食後(消化酵素複合剤)		2339
5.60		アリチア配合錠	(1錠)	マイラン製薬	混合ビタミン剤	チアミンジスルフィド10mg・ピリドキシン塩酸塩50mg・シアノコバラミン0.25mg(1カプセル中) 1回1錠を1日2回経口投与		3179

テオ(内・外・歯)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
11.60	先○処	テオドール錠100mg	(100mg1錠)	田辺三菱製薬	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(徐放性製剤)(キサンチン系気管支拡張剤)		2251
18.00	先○劇 処	テオドール錠200mg	(200mg1錠)	田辺三菱製薬	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mgを1日2回、朝及び就寝前投与、気管支喘息については成人1回400mg(本剤2錠)を、1日1回就寝前投与可(キサンチン系気管支拡張剤)		2251
11.30	先劇処	テオドールシロップ2%	(2%1mL)	田辺三菱製薬	気管支拡張剤	テオフィリンとして小児に1回4~8mg/kg(本剤0.2~0.4mL/kg)を1日2回朝及び就寝前に経口投与		2251
101.00	先○劇 処	テオドールドライシロップ20%	(20%1g)	田辺三菱製薬	気管支拡張剤	テオフィリンとして小児に1回4~8mg/kg(本剤20~40mg/kg)を1日2回朝及び就寝前に経口投与		2251
36.20	後劇処	テオフィリン小児用ドライシロップ20%「JG」	(20%1g)	日本ジェネリック	気管支拡張剤	テオフィリンとして小児に1回4~8mg/kg(本剤20~40mg/kg)を1日2回朝及び就寝前に経口投与		2251
5.60	後処	テオフィリン錠100mg「アメル」	(100mg1錠)	共和薬品	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(徐放性製剤)		2251
5.60	後処	テオフィリン錠100mg「TYK」	(100mg1錠)	大正薬品(テバ製薬、ニプロファーマ)	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(徐放性製剤)		2251
6.80	後劇処	テオフィリン錠200mg「アメル」	(200mg1錠)	共和薬品	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mgを1日2回、朝及び就寝前投与、気管支喘息については成人1回400mg(本剤2錠)を、1日1回就寝前投与可		2251
5.60	後劇処	テオフィリン錠200mg「TYK」	(200mg1錠)	大正薬品(テバ製薬、ニプロファーマ)	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mgを1日2回、朝及び就寝前投与、気管支喘息については成人1回400mg(本剤2錠)を、1日1回就寝前投与可		2251
5.30	後処	テオフィリン徐放錠50mg「日医工」	(50mg1錠)	日医工	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(徐放性製剤)		2251
5.60	後劇処	テオフィリン徐放錠200mg「日医工」	(200mg1錠)	日医工	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mgを1日2回、朝及び就寝前投与、気管支喘息については成人1回400mg(本剤2錠)を、1日1回就寝前投与可		2251
36.20	後劇処	テオフィリンドライシロップ20%「タカタ」	(20%1g)	高田製薬	気管支拡張剤	テオフィリンとして小児に1回4~8mg/kg(本剤20~40mg/kg)を1日2回朝及び就寝前に経口投与		2251
7.50	後劇処 統経	テオフィリン400mg徐放錠(400mg1錠)		統一名収載品	気管支拡張剤	テオフィリンとして400mgを1日1回夕食後に経口投与、適宜増減		2251
57.10	後劇処	テオフルマートドライシロップ20%	(20%1g)	東和薬品(東和薬品、和光堂)	気管支拡張剤	テオフィリンとして小児に1回4~8mg/kg(本剤20~40mg/kg)を1日2回朝及び就寝前に経口投与		2251
5.60	後処	テオフルマートL錠100mg	(100mg1錠)	東和薬品	気管支拡張剤	テオフィリンとして400mgを1日1回夕食後に経口投与、適宜増減		2251
6.50	後劇処	テオフルマートL錠200mg	(200mg1錠)	東和薬品	気管支拡張剤	テオフィリンとして400mgを1日1回夕食後に経口投与、適宜増減		2251
7.50	後劇処	テオフルマートL錠400mg	(400mg1錠)	東和薬品	気管支拡張剤	テオフィリンとして400mgを1日1回夕食後に経口投与、適宜増減		2251
40.40	後劇処	テオロング顆粒50%	(50%1g)	エーザイ	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(テオフィリン徐放製剤)		2251
8.10	★処	テオロング錠50mg	(50mg1錠)	エーザイ	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(徐放性製剤)		2251
12.70	★処	テオロング錠100mg	(100mg1錠)	エーザイ	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mg、小児1回100~200mgを1日2回朝及び就寝前経口投与、適宜増減(徐放性製剤)		2251
19.40	★劇処	テオロング錠200mg	(200mg1錠)	エーザイ	気管支拡張剤	テオフィリンとして成人1回200mgを1日2回、朝及び就寝前投与、気管支喘息については成人1回400mg(本剤2錠)を、1日1回就寝前投与可(テオフィリン徐放製剤)		2251
263.70	外劇	テーカイン原末	(1g)	ナガセ医薬品(マイラン製薬)	局所麻酔剤	パラブチルアミノ安息香酸ジエチルアミノエチル塩酸塩 使用に際し、目的濃度の水性注射液または水性液として使用(局所麻酔剤)		1211
8.70	後	デカソフトカプセル10mg	(10mg1カプセル)	キョーリンメディオ(杏林製薬、富士フィルムファーマ)	強心剤	ユビデカレノンとして1回10mgを1日3回食後に経口投与(代謝性強心剤)		2119

テノ(内・外・歯)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
22.40	後	デノパミール錠5	(5mg1錠)	日医工ファーマ (東和薬品)	強心剤	デノパミンとして1日量15~30mgを3分服、 多くは他剤と併用		2119
34.20	後	デノパミール錠10	(10mg1錠)	日医工ファーマ (東和薬品)	強心剤	デノパミンとして1日量15~30mgを3分服、 多くは他剤と併用		2119
5.60	後(処)統	テノミロール錠25mg	(25mg1錠)	小林化工	不整脈用剤	アテノロールとして50mgを1日1回経 口投与、適宜増減、最高量は1日1回100mg迄(心臓選 択性β遮断剤)		2123
5.80	後(処)統	テノミロール錠50mg	(50mg1錠)	小林化工	不整脈用剤	アテノロールとして50mgを1日1回経 口投与、適宜増減、最高量は1日1回100mg迄		2123
57.20	先(〇)処	テノーミン錠25	(25mg1錠)	アストラゼネカ (アストラゼネカ)	不整脈用剤	アテノロールとして50mgを1日1回経 口投与、適宜増減、最高量は1日1回100mg迄(心臓選 択性β遮断剤)		2123
96.60	先(〇)処	テノーミン錠50	(50mg1錠)	アストラゼネカ	不整脈用剤	アテノロールとして50mgを1日1回経 口投与、適宜増減、最高量は1日1回100mg迄		2123
17.40	先(〇)処	デパケン細粒20%	(20%1g)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして1日量 400~1200mgを1日2~3分服、適宜増減(抗てんかん 剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制 :400~800mgを1日2~3分服、適宜増減、1日量 1000mgを超えない		1139
25.70	先(〇)処	デパケン細粒40%	(40%1g)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして1日量 400~1200mgを1日2~3分服、適宜増減(抗てんかん 剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制 :400~800mgを1日2~3分服、適宜増減、1日量 1000mgを超えない		1139
10.00	先(〇)処 局	デパケン錠100	(100mg1錠)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして1日量 400~1200mgを1日2~3分服、適宜増減(抗てんかん 剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制 :400~800mgを1日2~3分服、適宜増減、1日量 1000mgを超えない		1139
15.20	先(〇)処 局	デパケン錠200	(200mg1錠)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして1日量 400~1200mgを1日2~3分服、適宜増減(抗てんかん 剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制 :400~800mgを1日2~3分服、適宜増減、1日量 1000mgを超えない		1139
7.90	先(〇)処 局	デパケンシロップ5%	(5%1mL)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウム50mg(1mL 中)バルプロ酸ナトリウムとして1日量400mg~ 1200mg(8~24mL)を1日2~3回に分割経口投与、年 令・症状に応じ適宜増減(抗てんかん剤、躁病・躁状 態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制:1日量8~16mL (バルプロ酸ナトリウムとして400~800mg)を1日2 ~3分服、適宜増減、1日量20mLを超えない		1139
11.70	先(〇)処	デパケンR錠100	(100mg1錠)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして1日量 400~1200mgを1日1~2分服、適宜増減(抗てんかん 剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制 :400~800mgを1日1~2分服、適宜増減、1日量 1000mgを超えない(徐放錠)		1139
19.20	先(〇)処	デパケンR錠200	(200mg1錠)	協和発酵キリン	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして1日量 400~1200mgを1日1~2分服、適宜増減(抗てんかん 剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制 :400~800mgを1日1~2分服、適宜増減、1日量 1000mgを超えない(徐放錠)		1139
122.80	先(〇)処 局	デパス細粒1%	(1%1g)	田辺三菱製薬	精神神経用剤	エチゾラムとして神経症、うつ病:1 日3mgを3分服、心身症、頸椎症、腰痛症等:1日1.5mg を3分服、睡眠障害:1日1~3mgを就寝前に1回経口投 与、適宜増減、高齢者1日1.5mg迄(精神安定剤)		1179
9.00	先(〇)処 局	デパス錠0.5mg	(0.5mg1錠)	田辺三菱製薬	精神神経用剤	エチゾラムとして神経症、うつ病:1 日3mgを3分服、心身症、頸椎症、腰痛症等:1日1.5mg を3分服、睡眠障害:1日1~3mgを就寝前に1回経口投 与、適宜増減、高齢者1日1.5mg迄(精神安定剤)		1179
13.40	先(〇)処 局	デパス錠1mg	(1mg1錠)	田辺三菱製薬	精神神経用剤	エチゾラムとして神経症、うつ病:1 日3mgを3分服、心身症、頸椎症、腰痛症等:1日1.5mg を3分服、睡眠障害:1日1~3mgを就寝前に1回経口投 与、適宜増減、高齢者1日1.5mg迄(精神安定剤)		1179
19.20	後(劇)処 統	デパロ錠2.5mg	(2.5mg1錠)	東和薬品	抗パーキンソン剤	プロモクリプチンメシル酸塩 プロモクリプチンとしてパーキンソン症候群:1日1 回1.25又は2.5mgを朝食直後に経口投与から始め、1 又は2週毎に1日量として2.5mgずつ増量、維持量(標 準1日15~22.5mg)を定め、1日量は5mgの場合は朝 食・夕食直後、7.5mg以上の場合は毎食直後に分け経 口投与、適宜増減(持続性ドパミン作動薬)		1169

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
5.60	後向処	ハルラック錠	0.125mg (0.125mg1錠)	富士薬品(共和薬品)	催眠鎮静抗不安剤	トリアゾラムとして	1回0.25～0.5mg就寝前投与、高齢者には1回0.125～0.25mg迄	1124
6.10	後向処	ハルラック錠	0.25mg (0.25mg1錠)	富士薬品(共和薬品)	催眠鎮静抗不安剤	トリアゾラムとして	1回0.25～0.5mg就寝前投与(睡眠導入剤)	1124
24.60	後向処	ハルリーブカプセル	0.1mg (0.1mg1カプセル)	シオノケミカル(ザイダスファーマ)	排尿障害改善剤	タムスロシン塩酸塩として	0.2mgを1日1回食後に経口投与、適宜増減(前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤)	2590
48.20	後向処	ハルリーブカプセル	0.2mg (0.2mg1カプセル)	シオノケミカル(ザイダスファーマ)	排尿障害改善剤	タムスロシン塩酸塩として	0.2mgを1日1回食後に経口投与、適宜増減	2590
6.70	後経	ハルルーリン配合錠	(1錠)	共和薬品(共和薬品、日本化薬)	前立腺肥大症治療剤	オオメガサソウエキス0.5mg・ハコヤナギエキス0.5mg・スギナエキス1.5mg・セイヨウオキナグサエキス0.5mg・小麦胚芽油15mg(1錠中)	1回2錠,1日3回、適宜増減(前立腺肥大症治療剤)	2590
5.60	後向処	バルレオン錠	0.125mg (0.125mg1錠)	テバ製薬	催眠鎮静抗不安剤	トリアゾラムとして	1回0.25～0.5mg就寝前投与、高齢者には1回0.125～0.25mg迄	1124
5.60	後向処	バルレオン錠	0.25mg (0.25mg1錠)	テバ製薬	催眠鎮静抗不安剤	トリアゾラムとして	1回0.25～0.5mg就寝前投与(睡眠導入剤)	1124
33.30	後向局	バルレール錠	10 (10mg1錠)	日新製薬(日新製薬、日本ケミファ)	尿失禁・頻尿治療剤	プロピベリン塩酸塩として	20mgを1日1回食後経口投与、適宜増減、効果不十分の場合20mgを1日2回迄増量可(尿失禁・頻尿治療剤)	2590
47.50	後向局	バルレール錠	20 (20mg1錠)	日新製薬(日新製薬、日本ケミファ)	尿失禁・頻尿治療剤	プロピベリン塩酸塩として	20mgを1日1回食後経口投与、適宜増減、効果不十分の場合20mgを1日2回迄増量可(尿失禁・頻尿治療剤)	2590
7.60	局	バレイショデンブ	(10g)	局方品	賦形剤	バレイショデンブ		7112
7.60	局	バレイショデンブ	(10g)	金田直隆商店	賦形剤	バレイショデンブ		7112
8.10	局	バレイショデンブ「ケンエー」	(10g)	健栄製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7113
7.60	局	バレイショデンブ	(10g)	小堺製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
8.10	局※	バレイショデンブ(三恵)	(10g)	三恵薬品	賦形剤	バレイショデンブ		7112
7.60	局	バレイショデンブ	(10g)	司生堂製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
8.10	局経※	バレイショデンブ(純生)	(10g)	純生薬品工業	賦形剤	バレイショデンブ		7112
7.60	局	バレイショデンブ	(10g)	東海製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
7.60	局	バレイショデンブ	(10g)	日興製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
7.60	局	バレイショデンブ「ホエイ」	(10g)	マイラン製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
8.10	局	バレイショデンブ原末「マルイシ」	(10g)	丸石製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
8.10	局※	バレイショデンブ(山善)	(10g)	山善製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
8.50	局	バレイショデンブ「ヨシダ」	(10g)	吉田製薬	賦形剤	バレイショデンブ		7112
60.90	先向処	バレオンカプセル	100mg (100mg1カプセル)	アポットジャパン	合成抗菌剤	ロメフロキサシン塩酸塩	ロメフロキサシンとして1回100～200mgを1日2～3回経口投与、適宜増減(ニューキノロン系経口抗菌剤)	6241
106.80	先向処	バレオン錠	200mg (200mg1錠)	アポットジャパン	合成抗菌剤	ロメフロキサシン塩酸塩	ロメフロキサシンとして1回100～200mgを1日2～3回経口投与、適宜増減(ニューキノロン系経口抗菌剤)	6241
5.60	後	ハレムニン錠	3mg (3mg1錠)	辰巳化学(辰巳、マイラン)	抗ヒスタミン剤	メキタジンとして	気管支喘息:1回6mg、アレルギー性鼻炎、じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒:1回3mgを1日2回経口投与、適宜増減(持続性抗ヒスタミン剤)	4413
9.10	後向局	バレリン錠	100mg (100mg1錠)	大日本住友製薬	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして	1日量400～1200mgを1日2～3分服、適宜増減(抗てんかん剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制:400～800mgを1日2～3分服、適宜増減、1日量1000mgを超えない	1139
12.20	後向局	バレリン錠	200mg (200mg1錠)	大日本住友製薬	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウムとして	1日量400～1200mgを1日2～3分服、適宜増減(抗てんかん剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制:400～800mgを1日2～3分服、適宜増減、1日量1000mgを超えない	1139
7.70	後向局	バレリンシロップ	5% (5%1mL)	大日本住友製薬	抗てんかん剤	バルプロ酸ナトリウム	50mg(1mL中)バルプロ酸ナトリウムとして1日量400mg～1200mg(8～24mL)を1日2～3回に分割経口投与、年齢・症状に応じて適宜増減(抗てんかん剤、躁病・躁状態治療剤)、片頭痛発作の発症抑制:1日量8～16mLを1日2～3分服、適宜増減、1日量20mLを超えない	1139

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
77.90	後(処)局	メシル酸ドキサゾシン錠4「MEEK」	(4mg1錠)	小林化工(小林化工),MeijiSeikaファルマ	血圧降下剤	ドキサゾシンメシル酸塩	ドキサゾシンとして1日1回0.5mgより、効果不十分時1~2週間間隔おき1~4mgに漸増、1日1回経口投与、適宜増減、1日最高投与量は8mg迄、褐色細胞腫による高血圧症に対しては1日最高投与量を16mg迄	2149
23.00	後(処)局	メシル酸ペルゴリド錠50μg「アメル」	(50μg1錠)	共和薬品	抗パーキンソン剤	ペルゴリドメシル酸塩	ペルゴリドとして1日1回50μgを夕食直後2日間投与、以後、2ないし3日ごと、1日用量として50μgずつ増量し、第1週末には1日用量として150μgを投与、適宜増減、L-dopa製剤と併用	1169
29.80	後(処)局	メシル酸ペルゴリド錠50μg「マイラン」	(50μg1錠)	マイラン製薬	抗パーキンソン剤	ペルゴリドメシル酸塩	ペルゴリドとして1日1回50μgを夕食直後2日間投与、以後、2ないし3日ごと、1日用量として50μgずつ増量し、第1週末には1日用量として150μgを投与、適宜増減、L-dopa製剤と併用	1169
109.90	後(処)局	メシル酸ペルゴリド錠250μg「アメル」	(250μg1錠)	共和薬品	抗パーキンソン剤	ペルゴリドメシル酸塩	ペルゴリドとして維持量(標準1日750~1250μg)毎食直後に分けて経口投与、適宜増減	1169
118.20	後(処)局	メシル酸ペルゴリド錠250μg「マイラン」	(250μg1錠)	マイラン製薬	抗パーキンソン剤	ペルゴリドメシル酸塩	ペルゴリドとして維持量(標準1日750~1250μg)毎食直後に分けて経口投与、適宜増減	1169
11.50	後(処)統	メシルパン錠100	(100mg1錠)	長生堂製薬(田辺製薬販売)	代謝性医薬品	カモスタットメシル酸塩	として300~600mgを3回に分けて経口投与、適宜増減(経口蛋白分解酵素阻害剤)	3999
27.10	先(処)局	メスチノン錠60mg	(60mg1錠)	共和薬品	自律神経剤	ピリドスチグミン臭化物60mg(1錠中)	通常成人1日3錠を1日3回に分けて経口投与、医師の監督下に症状に応じ適宜、用量及び服用回数を増減可(重症筋無力症治療剤)	1237
9.10	後(処)局	メゼック散10%	(10%1g)	テバ製薬	鎮咳剤	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	として1回15~30mgを1日1~4回経口投与、適宜増減	2223
15.30	後(処)局	メゼック配合シロップ	(10mL)	テバ製薬	鎮咳去痰剤	デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	2.5mg・クレゾールスルホン酸カリウム15mg(1mL中) 1日18~24mL, 14~8歳9~16mL, 7歳~3歳3~8mL, 3~4回に分服、適宜増減	2249
41.30	後(処)局	メソトレキセート錠2.5mg(2.5mg1錠)	(2.5mg1錠)	ファイザー(武田薬品)	代謝拮抗剤	メソトレキセート	として白血病:1日量として成人5~10mg、小児2.5~5mg、幼児1.25~2.5mg、1週間に3~6日経口投与、絨毛性疾患:1クール5日間、成人1日10~30mgを経口投与、休業期間7~12日間(葉酸代謝拮抗剤)	4222
5.60	後(処)統	メゾルミン錠25mg	(25mg1錠)	沢井製薬	不整脈用剤	アテノロール	として50mgを1日1回経口投与、適宜増減、最高量は1日1回100mg迄(心臓選択性β遮断剤)	2123
5.80	後(処)統	メゾルミン錠50mg	(50mg1錠)	沢井製薬	不整脈用剤	アテノロール	として50mgを1日1回経口投与、適宜増減、最高量は1日1回100mg迄	2123
142.70	先(処)局	メタクト配合錠HD	(1錠)	武田薬品	糖尿病用剤	ビオグリタゾン塩酸塩33.06mg(ビオグリタゾン30mg)・メトホルミン塩酸塩500mg(1錠中)	1日1回1錠を朝食後経口投与(チアゾリジン系薬/ビグアナイド系薬配合剤-2型糖尿病治療剤)	3969
76.60	先(処)局	メタクト配合錠LD	(1錠)	武田薬品	糖尿病用剤	ビオグリタゾン塩酸塩16.53mg(ビオグリタゾン15mg)・メトホルミン塩酸塩500mg(1錠中)	1日1回1錠を朝食後経口投与(チアゾリジン系薬/ビグアナイド系薬配合剤-2型糖尿病治療剤)	3969
60.50	後(処)局	メタコリマイシンカプセル300万単位(300万単位1カプセル)		ポーラファルマ	抗生物質製剤	コリスチンメタンサルホン酸ナトリウム	として1回300万~600万単位を1日3~4回経口投与、小児:1日30万~40万単位/kgを3~4回に分割経口投与、適宜増減、小児用量は成人量を上限	6125
44.00	後(処)局	メタコリマイシン顆粒200万単位/g(200万単位1g)		ポーラファルマ	抗生物質製剤	コリスチンメタンサルホン酸ナトリウム	として1回300万~600万単位を1日3~4回経口投与、小児:1日30万~40万単位/kgを3~4回に分割経口投与、適宜増減、小児用量は成人量を上限	6125
5.60	★(向)局	メダゼパム錠2(ツルハラ)	(2mg1錠)	鶴原製薬	催眠鎮静抗不安剤	メダゼパム	として1日10~30mgを経口投与(抗不安剤)	1124
5.60	★(向)局	メダゼパム錠5(ツルハラ)	(5mg1錠)	鶴原製薬	催眠鎮静抗不安剤	メダゼパム	として1日10~30mgを経口投与(抗不安剤)	1124
17.80	後(処)局	メタパスカプセル300(300mg1カプセル)		原沢製薬	血液・体液用剤	イコサベント酸エチル	として1回600mg1日3回毎食直後経口投与、トリグリセリドの異常を呈する場合1回900mg1日3回迄増量可(EPA製剤)	3399

ロラ(内・外・歯)

薬価	区分	品名	(規格単位)	メーカー	薬効	用法	用量	分類
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「ケミファ」	(10mg1錠)	ダイト(日本ケミファ)	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「興和テバ」	(10mg1錠)	テバ製薬	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「サワイ」	(10mg1錠)	沢井製薬	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「タナベ」	(10mg1錠)	長生堂製薬(田辺製薬販売)	アレルギー用剤	ロラタジンとして1回10mgを1日1回、食後経口投与、適宜増減(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「日医工」	(10mg1錠)	日医工	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「日新」	(10mg1錠)	日新製薬	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「ファイザー」	(10mg1錠)	ファイザー	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「AA」	(10mg1錠)	あすか製薬(武田薬品)	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「EE」	(10mg1錠)	エルメッド エーザイ	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「FFP」	(10mg1錠)	富士フィルムファーマ	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「JG」	(10mg1錠)	日本ジェネリック	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「KN」	(10mg1錠)	小林化工	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「NP」	(10mg1錠)	ニプロファーマ	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mgを1日1回食後経口投与、適宜増減・7歳以上小児:1回10mgを1日1回、食後経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「TCK」	(10mg1錠)	辰巳化学	アレルギー用剤	ロラタジンとして1回10mgを1日1回、食後経口投与、適宜増減(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
66.10	後処	ロラタジン錠10mg「YD」	(10mg1錠)	陽進堂	アレルギー用剤	ロラタジンとして1回10mgを1日1回、食後経口投与、適宜増減(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
144.50	後処	ロラタジンDS1%「タナベ」	(1%1g)	長生堂製薬(田辺製薬販売)	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mg(ドライシロップとして1g)を1日1回食後に用時溶解して経口投与、適宜増減(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	
144.50	後処	ロラタジンDS1%「トーワ」	(1%1g)	東和薬品	アレルギー用剤	ロラタジンとして成人:1回10mg(ドライシロップとして1g)を1日1回食後に用時溶解して経口投与、適宜増減、3歳以上7歳未満の小児:1回5mg(ドライシロップとして0.5g)、7歳以上の小児:1回10mg(ドライシロップとして1g)を1日1回食後に用時溶解して経口投与(持続性アレルギー性疾患治療剤)	4490	